

コンピュータチェック事例コード

48SJ990810901

コンピュータチェック内容

同日に細胞診（穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等）が2部位以上算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

検査の通則より対称器官に係る検査の各区分の所定点数は、特に規定する場合を除き、両側の器官の検査料に係る点数とする。また、細胞診（穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等）は同一又は近接した部位より同時に数検体を採取して標本作製を行った場合であっても、1回として算定するとされています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

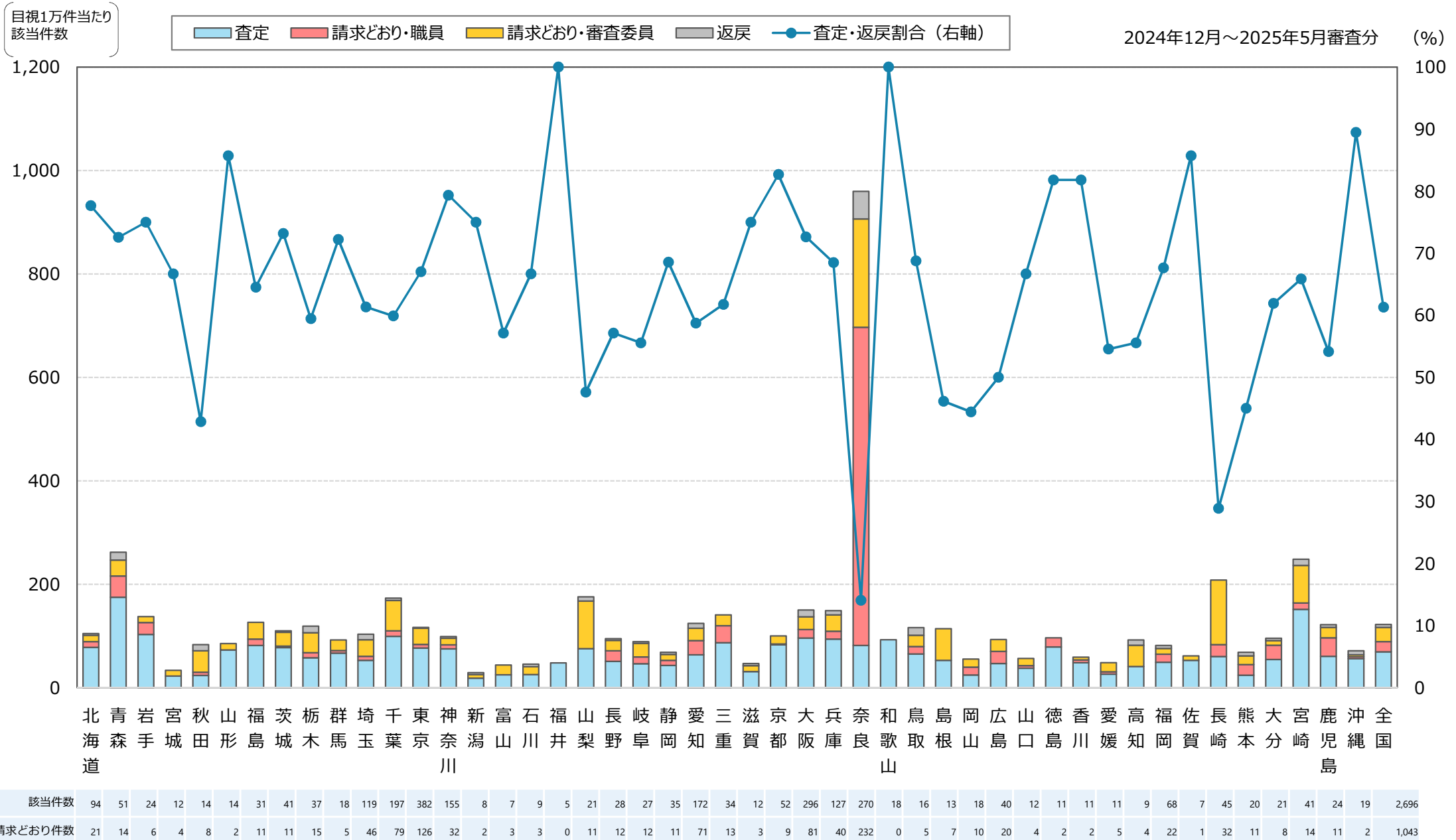
➤ 全国の査定・返戻割合 61.31%

➤ 検証対象都道府県 43

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	奈良、長崎、秋田、岡山、熊本、島根、山梨、広島、鹿児島、愛媛、岐阜、高知、富山、長野、愛知、栃木	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	奈良、青森、鹿児島、三重、愛知、大分、広島、長崎、岩手、熊本、長野、徳島、大阪、福岡、岡山、兵庫	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	奈良、長崎、山梨、宮崎、島根、千葉、秋田、高知、栃木、福島、埼玉、兵庫、東京、青森、茨城、岐阜	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,696件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	1,653件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,043件



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数